

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700293		
法人名	日本システムサービス(株)		
事業所名	グループホームいきいき岩見沢		
所在地	岩見沢市志文町1180-47 (電話) 0126-25-7615		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価確定日	平成19年8月8日

【情報提供票より】(19年6月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月2日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7人	常勤	7人, 非常勤 人, 常勤換算7人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	3階建ての	2~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円~32,000円	その他の経費(月額)	22,000円
敷金	有(円)	○無	
保証金の有無(入居一時金含む)	○有(20,000円)	有りの場合償却の有無	○有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	700円	

(4) 利用者の概要(6月28日現在)

利用者人数	9名	男性	5名	女性	4名
要介護1	2名	要介護2	5名		
要介護3	2名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 72歳	最低	67歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団健伸会東町ファミリークリニック 江島歯科医院
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームいきいき岩見沢は、郊外の自然環境に恵まれた位置にあり、建物は共同住宅を改装したものであるが、共用空間は明るく開放的で、窓からは四季折々の風景を見渡すことができる。壁には職員と利用者が協力して作った作品が飾られ、自宅のような居心地の良さを演出している。管理者は、常に利用者が主役、という視点で心からのお世話を心掛け職員の指導に当たっている。職員も、利用者がこのホームに来てよかったですと感じてもらえるようにと、ケアの向上に熱意を持って取り組んでおり、利用者の表情もゆったりと穏やかである。ホーム訪問時は夏季であったが、利用者全員が職員と一緒にホーム玄関前のテーブル席で朝の散歩後のお茶を飲みながら談笑していた。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	毎食後の口腔内ケア、職員の外部研修の受講、苦情受付の第三者窓口紹介など改善には意欲的に取り組んでおり、多くが改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の実施には日々の申し送りの後や、毎月のミーティング時に話し合い、職員全員で取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、現在までに6回実施されている。家族の意見やケアに対するアドバイスを積極的に取り入れ、サービス向上に活かしている。今回の外部評価の結果も運営推進会議の議題の一つとして取り上げていく。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族に対しては気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めている。以前は意見箱を設置していたが、意見が入ったことはないため、今後は、家族が意見・不満・苦情等を気兼ねなく表せる機会作りのために、無記名でのアンケートの実施を検討していく。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会や老人会に加入しており、カラオケ、地域の祭り、誕生会と、多様な行事や、草刈りなど職員と利用者が一緒に参加し、積極的に地域の人々と交流している。近隣の住人とは、日常的に野菜を頂いたりお茶を飲みにくるようにと誘われたりする関係である。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念はあるが、特に地域密着を意識した理念にはなっていない。	○	地域密着型サービスとしては何が大切かを管理者と職員で話し合い、現状にあった理念を作りあげ、実践していくことを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一人ひとりには理念を印刷した携帯用のカードを渡している。管理者と職員は、理念の意義を理解し、日々の申し送りや毎月のミーティングで確認し、実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会や老人会に加入しており、カラオケ、地域の祭り、誕生会と、多様な行事や草刈りなど職員と利用者が一緒に参加し、積極的に地域の人々と交流している。近隣の住人とは、日常的に野菜をいただいたりお茶を飲みに来るようにと誘われたりする関係である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の実施には日々の申し送りの後や、月1回のミーティング時に話し合い、職員全員で取り組んでいる。外部評価の結果に対しては、改善に向けた体制を整え実践している。		

岩見沢市 グループホームいきいき岩見沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、現在までに6回実施されている。家族の意見やケアに対するアドバイスを積極的に取り入れ、サービス向上に活かしている。	○	今回の外部評価の結果も運営推進会議の議題の一つとして取り上げ、更にサービスの向上に活かしていくことを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは、毎月の訪問や運営推進会議を通じての連携はあるが、積極的に情報提供を行なうなどの取り組みはない。	○	市の担当者に対しては、積極的にホームの情報を提供し、外部研修に関する情報を教えてもらうなど、市と協力してサービスの質の向上に取り組んでいくことを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には話し合いの時間を設けて利用者の状況について話をし、状況に合わせて電話で連絡している。毎月、「ホーム便り」と、利用者一人ひとりの近況を伝える手紙を郵送しているが、金銭出納の明細に関しては、毎月郵送してはいない。	○	今後は、「ホーム便り」等と一緒に出納明細と、必要な領収書を毎月郵送することを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族に対しては気軽になんでも話し合える雰囲気作りに努めている。以前は意見箱を設置していたが、意見が入ったことはないので、現在は設置していない。	○	家族が意見・不満・苦情等を気兼ねなく表せる機会作りのために、無記名でのアンケートの実施などを検討していくことを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新職員の紹介、職員間の引き継ぎに関しては、利用者の特性に配慮した説明を行なうなど細心の注意を払っている。家族に対しては、面談の際や毎月の手紙で報告し、理解を求め、利用者に対してのフォローへの協力もお願いしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の育成のために、外部研修を職員が受講できるように研修の情報を提供し、希望者が受講できるように取り組んでいる。	○	市の担当者から適切な外部研修の情報を入手し、職員の外部研修の機会を増やすことを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣地区のグループホームと話し合い、互いのホームを見学する話し合いをし、昨年2名の職員が見学に行っている。今年は、先方の職員を受け入れる予定である。	○	今後は、市内や近隣地区の複数のグループホームに働きかけ、より多くの同業者との交流を図ることを期待したい。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、本人と家族に必ずホームを見学してもらっている。体験入居も実施しており、2週間滞在してから入居した利用者もいる。利用開始後には職員と一緒にゆっくり話をして馴染みの関係を作っている。また、以前から入居している利用者と話ができるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と同じ目線での会話を心掛けている。利用者の主体性・積極性を大切に、ともに過ごし支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、日常的に、利用者の言葉や表情から、利用者の気持ちを本当に汲み取っているかどうか、常に職員同士で確かめ合い、話し合いながらケアを行なっている。		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるように、家族や関係者の気づきや意見を反映した介護計画を、職員全員で話し合いながら作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、基本的に3ヶ月ごとに見直しをしている。状況に応じて随時見直しを行ない、1ヶ月ごとに新鮮な目でモニタリングし、現状に即した支援を行なっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の通院、美容院、お寺参りなどは職員が同行している。地域主催の無料出張リハビリがあるので、利用できるように現在申し込み中である。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	4週に1度、協力医療機関で、外科と内科の往診があるほか、希望者は掛かりつけ医を受診することができる。協力歯科医院の往診もあり、希望者は受診できる。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期における看取り介護についての同意書を殆どの利用者・家族と交わしている。現在、医療面での整備を図るために、看護師を募集中である。	○	今後は、新規に採用する看護師を通じて医療機関との協力を蜜にし、重度化や終末期よる体制を整備していくことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣いは丁寧であり、個別的にきちんと対応している。記録物や手紙は外部に持ち出さないように徹底している。	○	今後は、個人情報の勉強会をホーム内で行ない、更にプライバシー確保の徹底を図っていくことを期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、就寝時間など利用者一人ひとりのペースを尊重している。食事時間もそれぞれが自分のペースであり、食後は、利用者が各々自分で下膳している。		

岩見沢市 グループホームいきいき岩見沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、職員と一緒に、調理、配膳、盛り付けや後片付けなどを行なっている。職員は利用者と一緒に、楽しみながら同じ食事を食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に、入浴は水・土曜日以外の午後となっている。現状では、入浴を拒否する利用者があるので、全員が少しでも多く入浴してもらうことを目標としている。		
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の家事や、編物、塗絵、カラオケなど利用者は、一人ひとりが役割や趣味を持っている。毎月の行事も楽しみにしている。利用者の希望で、喫茶店やラーメン屋に車で行くこともある。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い時期は、毎朝、近くの公園に利用者全員で散歩に行く。地域の協力で公園にベンチを作ってもらったので利用できる。外出後は、ホーム玄関前のテーブル席でお茶を楽しんでいる。冬季は、外食やデパートに買物に行くなど外出の機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は施錠されていない。玄関にはセンサーを取り付け、利用者の安全を確保している。		

岩見沢市 グループホームいきいき岩見沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災訓練を実施している。地域の方々に協力を得られるように日常的に働きかけている。現在、自治会の協力で災害時の連絡網の整備が進んでいるところである。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの状態を把握し、食事のバランスや水分摂取量の確保、体調に合わせてお粥、麺類、ジュースなどの工夫をしている。2ヶ月に1回程度、知り合いのグループホームの栄養士が立てた献立表を送ってもらい、参考にしている。	○	同法人が経営しているグループホームに管理栄養士がいるので、今後は、定期的に献立表をチェックしてもらうことを期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、たくさんの写真や季節の植物、職員と利用者が共同で作った作品などが飾られている。居間では、利用者が思い思いにくつろいでいる。廊下の要所にもソファが用意され、居心地の良い空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者の使い慣れた家具や馴染みの物が用意され、安全で安心な生活の場となっている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。